

学校だより

平成30年度 第9号

こくぶん

市川市立国分小学校

校長 小林 恵子

平成30年12月21日

学校教育目標 未来を切り拓く国分っ子の育成
～豊かな心を持ち、しっかり考え、最後までやりぬく子～
<http://www.kokubun-syo.ichikawa-school.ed.jp/index/index.htm>

あっという間に一年が過ぎ、もうすぐ平成30年を終えようとしています。この一年も、子供たちが躍動し、笑顔や歌声があふれる学校となりました。日々、一人一人の子供たちの成長を垣間見ることができ、うれしい思いでいっぱいです。保護者の皆さまや地域の皆さまには、いつも温かい眼差しでご協力をいただきましてありがとうございました。



さて、いよいよ子供たちが楽しみにしている冬休みに入ります。おかげ様でインフルエンザ等も広がらず元気な子供たちですが、北半球で一年のうちで最も昼が短く夜が長くなる明日の冬至の夜は、ゆず湯に入って、カボチャ（なんきん）など「ん」のつく食べ物をいただき、風邪などひかないようにしてください。

冬休みを前に、子供たちに「一年の計は元旦にあり」から、新しい年のはじめに、一年の目標について、「やってみたいこと」「やらなければいけないこと」を考えてみることを話しました。清々しい気持ちで前を向き、新たな夢や目標を描いてほしいと思います。私たちも、「平成」最後の年を見送りながら、あらためてこの一年を振り返り、新しい年に向けてさらに充実した学校づくりができるよう準備していきたいと思います。

ところで、年末は特に慌ただしく、車の交通量も増えてきます。学校でも指導してきましたが、ご家庭でも、交通事故にあわないようご注意をお願いします。交通事故や事件などに巻き込まれることなく、楽しいお休みを過ごした子供たちに会えることを願っています。

皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。



長縄跳びに挑戦

ワクワクグループでの長縄跳びに挑戦しました。業間休み等の時間を使ってみんなで練習し、当日は記録更新を目指して、どのグループも真剣でした。低学年の子供たちに合わせて、跳びやすいように配慮しながら縄を回す高学年の子供たち。ビュンビュンと空を切る長縄を前に足をすくめていた1年生も、タイミングを合わせて、跳んだりくぐり抜けたりできるようになっていきました。無事に跳べた子供だけでなく、周囲で応援

していた子供たちも一緒に喜び、声をかけあいながら協力して取り組んでいる子供たちの姿は、見ていただけの身にとっても、パワーを与えられるひと時でした。子供たちは、長縄跳びを通して体力を高め、笑顔を増やし、そして仲間と協力することを体験しています。



学校保健委員会 12月7日

全校での学校保健委員会を実施しました。「生活習慣を見直して、元気アップ！」のテーマで、健康委員会の子供たちによる調査結果や劇の発表がありました。事前に抽出した飲み物等の塩分や糖分量を測定したり、みんなが興味を持ちやすいように劇の練習をしたりして一生懸命に取り組んだ健康委員の子供たちの発表は、全校のみんなと学校医の小菅先生からも好評を博しました。大人たちにとっては問題視される生活習慣病。子供たちにはなじみが薄かった言葉かもしれませんが、健康な体づくりのために、自分たちで食習慣も気をつけていくことを学びました。



活躍する国分っ子

○平和ポスターコンクール 佳作 3年 女子1名

○京葉ガスポスターコンクール

あったか賞 1年 男子1名

準佳作 3年 女子1名 6年 女子1名

○わんぱくセミナー

修了証 5年 女子3名

6年 女子2名

○市川市学校新聞展

優秀賞 5年2組 「国分米」

優良賞 新聞委員会「国分タイムス」

この他にも、市川文化会館で開催された市川市こども作品展では「書写の部」「図工の部」「家庭科の部」に各学年代表の力作がたくさん展示されました。